



「がん検診」

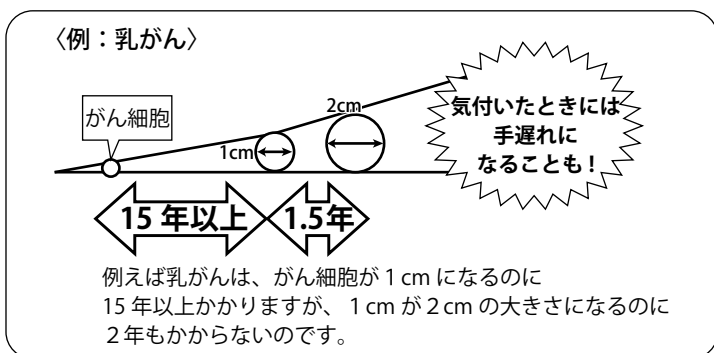
なぜ受けぬのだ
広島県民よ!

荒木優一 山田明彦 課長

「自分自身のために」 がん検診へ行こうよ!

がん検診啓発キャラクター
庄原市のデーモン閣下?です。

「がんなんて自分には関係ない」。そんなふうに考えていませんか?がんは、誰もがかかる可能性のある身近なもので、日本人の2人に1人はがんにかかると言われています。「症状なんてないし、かかるとしてもまだ先でしょ」と考えているあなた。症状が出るという事は、だいぶがんが進行している可能性があります。発見したときには「すでに手遅れ」ということもあるので、早期発見・早期治療のために定期的ながん検診を受けましょう。



検診の目安

〈胃がん〉

40歳以上は1年に1回
日本人が最も多くかかっているがんです。早期発見であればほぼ完治の見込める「治りやすい」がんです。

〈大腸がん〉

40歳以上は1年に1回
がんにかかる率・死亡率共に増加しています。これは、食生活の欧米化により、肉類や脂肪を多くとるようになり、食物繊維をとらなくなったことが大きく影響していると言われています。検診内容は検便です。

〈肺がん〉

40歳以上は1年に1回
肺がんはすべてのがんの中で死亡率が最も高いがんです。自覚症状がほとんどなく、気付いたときには手遅れということもあります。早期発見が非常に大切です。たばこを吸わない人でも発症しますが、喫煙が最も大きな原因で、喫煙しない人の約4〜5倍のリスクがあります。受動喫煙もリスクが上がります。

〈子宮頸がん〉

20歳以上は2年に1回
若い女性で増えてきており、性体験の

低年齢化が原因のひとつと考えられています。また、閉経後に発生する危険があるため、閉経後も忘れずに受けましょう。子宮頸がんを予防するためのワクチンがあります。

〈乳がん〉

40歳以上は2年に1回
日本人女性がかかるがんの第1位です。がんにかかる率・死亡率も年々増えています。マンモグラフィは5cm以下の小さながんも発見できます。また、自己触診が早期発見の助けになります。月1回は自己触診を行ってみてください。

精密検査は受けることが大切

がん検診の大切さはよく分かるけど、精密検査と言われるのが「イヤ」「怖い」という方もいるかもしれません。しかし、検診では見極められなかったものを、体に影響を及ぼすものなのかそうではないのかを判断するものなので、精密検査は「受けること」がとても大切なことです。

庄原市でも毎年集団健診を行っています。受付時期は4月ごろになりますので、行政文書などでご確認ください。誰かのためではなく「自分自身のため」にがん検診へ行きませんか。